

「ユメのツリー」でサンタさんを出迎えよう♪

のと里山空港で自分の“夢”を形にするアートワークショップを開催！

アートを通して被災地支援に取り組む任意団体「DEAR_to（ディアトゥ）」は、能登地区の子どもたちに震災を乗り越え、将来に希望を持って生きてほしいとの願いを込めて、それぞれの夢を形にしたオーナメントをクリスマスツリーに装飾するワークショップを 12 月 14 日にのと里山空港で開催します。

この「ユメのツリー」の制作は、のと里山空港賑わい創出実行委員会から 12 月 21 日にクリスマスプレゼントを持って飛行機でやって来るサンタさんを子どもたちが作ったツリーで温かく出迎えたいとの相談を受け、子どもたちが自分の夢やなりたい姿を形として表現し、それを言語化・可視化することにより、友だちや家族と将来への思いを共有する機会になればと思い企画しました。

ワークショップでは、ユニークな図工の授業を行なっている金沢大学附属小学校の教員が指導し、空港に集まった子どもたちが「自分の夢」をテーマに、水でくっつくバイオマス素材の緩衝材を自由につなぎ合わせてオーナメントを制作し、電飾とともにツリーに飾り付けます。完成した「ユメのツリー」は 12 月 25 日まで空港のターミナルビルに展示され、震災から 2 年を迎える能登に将来への夢と希望を与えます。

■「ユメのツリー」ワークショップ 開催概要

日 時：2025 年 12 月 14 日（日）10:30～12:00

場 所：のと里山空港ターミナルビル 4 階「42 会議室」

制 作：能登地区の子どもたちと保護者

※当日 10 時から会場で参加を受け付けます（無料／定員なし）

展 示：12 月 14 日（日）～12 月 25 日（木）

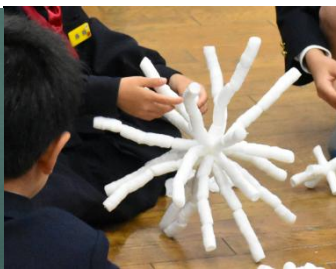
協 力：のと里山空港賑わい創出実行委員会



〈環境にやさしい緩衝材〉



〈緩衝材をくっつけて夢を形に〉



〈オーナメントを飾り付ける〉



〈昨年制作した「あい」のツリー〉

※イメージ

■アート×被災地支援「DEAR_to」について

2024 年 1 月 1 日の能登半島地震をきっかけに始動した全国のアーティストによる復興支援プロジェクト。ものづくり企業とのコラボによるチャリティグッズの制作・販売のほか、地震で大きな被害を受けたのと鉄道を応援しようと、子どもたちによるワークショップを開催して車両に展示するアート作品などを制作。昨年は地元の子どもたちと「あい」のツリーを制作し、穴水駅に展示した。（URL：<https://dear-to.jp>）

本件に関するお問い合わせ先

DEAR_to 事務局（株式会社ホクビ内）【電話】076-261-8211【担当】金本
【URL】<https://dear-to.jp> 【E-mail】info@dear-to.jp